



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京大第2部卒業後、大阪大第2部内科入局。1995年、長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。著「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

肉感的である、という日本語の表現。この女優さんを知ったときに覚えた記憶があります。

昨今はエロいという表現をよく見かけますが、どうも安っぽくて、好きじゃありません。この人から滲み出るまろやかでしっとりとした色気は、「エロい」ではなく「肉感的」がやはり相応しかった。

女優の京マチ子さんが5月12日、都内の病院で亡くなりました。享年95。死因は心不全ですが、穏やかに天寿をまっとうされた老衰でしょう。

京さんが生まれたのは大正13年。昭和天皇が結婚された年です。大正、昭和、平成、令和と四つの時代を跨(また)いで生きてきたのはすごい。

若い読者の方は、この女優さんのことをご存じないかもしれ

106 女優 京マチ子



一人です。1950年代に出演した黒澤明監督『羅生門』は、ベネチア映画祭グランプリ、溝口健二監督『雨月物語』は同銀獅子賞、衣笠貞之助監督『地獄門』では

海外の映画祭で賞を獲得するこ

とほほしくありませんが、京さんは、その道を拓いてくれたお

ません。今こそ、日本映画が

カンヌ映画祭グランプリを獲得。「グランプリ女優」といわれるほどの活躍でした。また、小説家の谷崎潤一郎も京さんの崇拜者であったようで、『痴人の愛』ほか谷崎作品の映画にも出演されていました。

谷崎は京さんに初めて会ったときに、「美しい国の美しい人」と呟いたという逸話もあります。

美しすぎて、きつと誰も手が出せなかったのでしょうか。京さんは生涯独身を貫きました。しかし孤独ではなかったようです。「週刊ポスト」の記事によれば、10年ほど前から、女優の

若尾文子さんや奈良岡朋子さん、プロデューサーの石井ふく子さんら芸能界の仲間と同じ高層マンションに住んでいたということ。まるでそれは、リアル<やすらぎの郷>

死ぬときに、家族がいなくても(むしろいないほうが)、自分で望んだ形は実現できるのだと教えてくれました。

美しい友人だけでの密葬、お別れの会はなし、お墓は生前自分で決めてきたハワイの土地に。お友達が、すべて京さんの遺言通りに実行してくれたようです。

それよりも、同じマンションに同じような境遇の友達と別々の部屋に住み、適度な距離を保ちながら、生存確認をしよう老後のほうがよほど幸せかと思いません。

実際に素晴らしい考えです。老いてからの一人暮らしに必要なものは友達です。生活が心配だからと、それまで別に暮らししていた子供夫婦と同居したとたんに、具合が悪くなってしまう高齢者をたくさん見てきました。「子供の世話になってしまい申し訳ない」と思うことが最大のストレスになるのです。

仲間と一緒に幸せな老後